



第76号

2017年2月21日発行

発行所

須坂市大字日滝407

須坂市シニアクラブ連合会

TEL 026-246-1746

発行人 滝澤光雄

編集 広報委員会

印刷 ヒタキ印刷株式会社



参加者全員で準備体操

第42回健康体育祭開催

十月七日、市民体育館に於いて、青木高齢者福祉課長、植木社会福祉協議会会長を来賓にお迎えしました。

年々平均寿命が延びており、健康寿命に重要なことは日頃の運動が大切で欠かさないと思います。

二百六十名の参加の中、スマイルボーリング、囲碁ボードの団体戦をはじめダーツ、シャッフルボード、輪投げなどの個人戦と多種目の競技が行なわれました。

又、試合結果の集計に誤りがあり、関係する皆様には大変ご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます、紙面の結果により訂正します。



うまく入るかな？ 輪投げ

- 各競技の成績は次の通りです。(敬称略)
- 団体戦**
- ◆スマイルボーリング(18チーム参加)
 - 優勝 相森老盛会
 - 準優勝 井上桐寿会
 - 三位 南横町高砂会
 - ◆囲碁ボード(19チーム参加)
 - 優勝 相森老盛会
 - 準優勝 旭ヶ丘町旭寿会
 - 三位 塩川町長生会
 - ◆個人戦
 - ◆ダーツ
 - 優勝 鈴木しげ子 上八町
 - 準優勝 和田 主税 立町
 - 三位 玉井 伍男 高梨・五閑町
 - ◆輪投げ
 - 優勝 中沢 誠一 野辺町
 - 準優勝 駒津 末治 米子町
 - 三位 関野さち子 上八町
 - ◆シャッフルボード
 - 優勝 山岸 市郎 仁礼町
 - 準優勝 小林 秋彦 大谷町
 - 三位 寺林 達夫 仁礼町

私達の「春寿会」は昭和三十四年の創立以来五十八年を迎えます。この間多くの先輩の皆様のご尽力により活発な活動を続けてきました。昨年新たな会員増を期待してシニアクラブに名称を変更しました。

花壇の活動は、春木町交差点改良による空き地発生以来、平成十三年から十六年間にわたり花の植栽育成を続けてきました。当クラブの園芸部長中心に起耕・施肥・整地を行い六月初旬には、総勢三十数名の会員を動員一斉に花苗植えを行います。

昨年は創成高校の特別支援学級の生徒さん達も応援に来ていただき、にぎやかに楽しむことができました。

その後の花の管理育成は四名一組の五班で一週間交代で水やり、雑草取りに皆で九月まで汗を流します。通行の人や信号待ちの車の人から「綺麗ですね・御苦労さま」と声をかけて戴きます。道行く皆さん方の目の保養になり、町中が明るくなることを誇りに花を咲かせています。



花壇レイアウト思案中

「花と緑のまちづくり」参加
花壇の活動報告
春木町シニアクラブ春寿会
馬場滋雄

秋の研修旅行

十月二十四日(月)二十五日(火)、一泊二日で参加者二十九名と北陸五大温泉郷の柴山湯に佇む加賀温泉郷・片山津温泉に宿泊し、九谷焼や新湊漁港のカニのセリ市を見学しました。

初日はとても良い天気で、車窓から山々の紅葉が日光に照らされてとてもきれいでした。

富山県に入って、まず越中三大民謡・越中おわら節風の盆踊、麦屋節踊、こきりこ節踊を見物しました。昼食は鱒鮎を堪能しました。

午後は霊山信仰の聖地白山此咩神社を参拝し宿に向かいました。金沢市内は新幹線の開通により大きく変貌をしているように見えました。郊外にどんな住宅ができて、それに伴い店舗がつくられ、商圏が形成されているように感じました。



かまぼこ工場見学



白山此咩神社境内

宿泊地の片山津温泉は、かつての華やかな面影はまったくなく、時代の趨勢を感じました。

翌日は人間国宝の徳田先生の展示品がある九谷焼を見学し買物を楽しみました。時価一千万円もする物から、数千円の物とさまざまでした。その後、新湊漁港のセリ市を見学しました。鮮魚なので、落札されたものはすぐさま車に積まれて、それぞれの業者が素早く持っていきましました。水揚げ直後の魚介類のセリ市は、活気がみなぎるある種独特の雰囲気、山国に住む私たちにとってはとても興味深いものでした。帰路の車中ではビンゴゲームをして童心にかえって楽しみました。家を引きこもってなどないで、たまには大勢の会員とふれあい、思い出をつくってみてはいかがでしょう。

交通安全を心がけて

平成二十八年度、女性部研修会を二月二日永楽荘に於いて、各町から五十余名の参加を頂き行いました。

最近全国的に高齢者の交通事故が多発しており、それも事故となり、悲しい結果となつてニュース等で取り上げられております。そこで、高齢者の交通事故問題をテーマに、須坂警察署坂下課長様を講師にお願いを致しまして、プロジェクトを使いわかりやすく説明、解説をしていただき大変勉強になりました。

事故は加害者、被害者とも不幸になります。昨年度、須高地区では死亡事故は減少しておりますが、事故件数は



交通安全研修中



女性部交歓茶話会の様子

長野県では一番多いこの事ですので、十分注意をし運転に、また歩行に気をつけたいものです。

この頃「なんか変だな」と感じていませんか？以前とは違う自分の目・心・体・等、年を重ねてくると判断力も感覚も低下してきます。これからは時間と心に余裕をもって、ハンドルを握りたいと思います。

事故防止につとめ、元気で長寿を目指し、心豊かで活力ある生活を送りましょう。

研修会の後は美味しいケーキとコーヒーによりお楽しみ茶話会を行いました。各地区の活動の様子を話したり、旧友と久しぶりに会った方もおられたようで話をしたり、楽しい一時を過ぎました。

第26回 市シニア連会長杯ゲートボール大会開催

接戦の末 高橋町チーム二連覇

十一月十日、第二十六回シニア連会長杯争奪ゲートボール大会が、ふれあいゲートボール場に於て開催されました。各ブロックより十チーム、前回優勝の高橋町、田の神町チームがシード権を得て、十二チームによる熱戦が展開されました。開会式は、優勝杯、準優勝杯の返還、滝澤会長の挨拶の後、須坂市高齢者福祉課課長の青木様、GB協会神山会長よりご祝辞をいただきました。そして抽選会により、4ブロックによる対戦チームが決まりました。最後に来賓各位と会長による始球式が有り競技に入りました。

午前中の予選リーグ戦は各チーム、二試合を行い、上位チームが午後の決勝戦に進みました。



ゲートボール大会開会式



ゲーム熱戦中

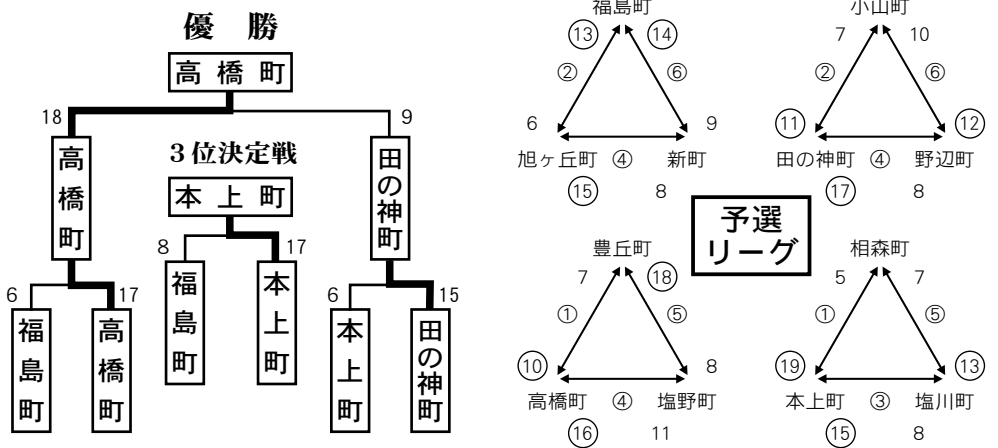
ゲートボールは団体戦ですが、チームワークの良さ、個々の技術の正確さ、そして作戦によって勝敗が大きく左右してしまいます。しかし、運も味方したような好プレーも多々ありました。

午後の決勝トーナメント戦も、熱戦が展開されましたが、二十五回大会と全く同じ顔合わせになり、そして順位も全く同じになり見事、高橋町チームが二連覇を果しました。準優勝に田の神町チーム、三位に本上町チームでした。おめでとうございます。尚、本大会に於てはゲートボール協会役員の皆様の御協力をいただきました。ありがとうございます。

今大会の対戦成績は以下の通りです。



優勝チーム



第35回 ふれあい広場に参加

十月十五日好天に恵まれふれあい広場実行委員会主催により開催されシニア連役員七名で参加しました。

ふれあい広場は心身に障害のある人、ない人、老人も子どももすべての人が理解しふれあいを深め、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進する目的で開催されています。

シニアクラブもその一団体として参加出店しました。

おやき、くん炭、地元産の野菜を販売しましたが好評で、予定通りすべて完販しました。

微力ではありましたが須坂市のボランティア活動の一貫をになうことができました。

来年は、会員のみなさんも是非参加してみてください。

当日の来場者は総勢で約二千人程でステージショーも開催され、プロ歌手によるコンサートもあり、高校生のダンス、地元愛好会のヒザ踊りなどで会場は大にぎわいで盛り上りました。



新調した法被で参加



元気な仲間 (76)



米子町シニアクラブ

上野 揆一さん 83 歳

米子町老人会「和合会」のことについて記したいと思います。

まず当町の会員数は五十三名でしたが、昨年のお盆過ぎから今年一月迄に七名の方がたがお亡くなりになりました。非常に悲しいことですが、これだけはどうすることもできないことです。ご冥福を祈るばかりです。当町の老人会の年間事業は花壇の花植があります。次に老人福祉センターくつろぎ荘での慰安会を四回位行ないます。又

一泊温泉旅行が二回あります。二月と七月です。今年は二月に湯田中温泉に行きました。二回目は観光をかね旅行になります。皆さん楽しみにしております。

又、会の中にゲートボール愛好会があります。米子の先輩方は大変成績がよくトロフィがいっぱい棚の上に並んでおります。

前には大勢おられた会員もすくなくなり試合に出るのがやっとなるときもありました。昨年若い人が一人入会してくれましたが、期待の持てる人です。人数がすくないので練習は冬場は豊丘上町のチームと合同で練習しています。夏場五月頃からは米子に来ていただいて練習をやりませう。

午後一時頃集合して、二試合してきゆうけいに入りストーブを囲んでお茶会になります。その日の当番もきめてそれぞれ持ちよった漬物、煮物、お菓子等を食べながら雑談して交流を深めています。それが一番楽しい一時です。お茶会のと二試合して解散します。今後若い人達がゲートボールのことを理解して入会してくれることを期待しております。



ゲートボール作戦会議中

人権学習会

一月十二日永楽荘におきまして人権学習会が開催されました。

今年も人権交流センターの山崎講師により人権啓発DVD『カラフル』家庭内の中の人権を見て、両親と巣立ちの時を迎えた子どもたち二人の会話を中心に彼らが生きていく中で出合ういくつかの人権課題について、一人ひとりが「人権」に対する意識と知識を高め、家庭内で話し合うこと。



学習会の様子

人権に対する意識の基盤は、家庭の中で育まれていきます。気づくこと、そして、行動することの大切さについて考えます。

老連県大会 松本市で開催 来年度は駒ヶ根市で開催

十月二十一日にキッセイ文化ホールにおいて、県内各地より八百五十名が参加し、当連合会も十四名の理事、役員が参加しました。

記念公演は、「健康寿命延伸を目指した食生活」と題して松本大学の水野尚子助手のご講演がありました。



熊本地震災害救援抛金に対する礼状が届く

昨年四月に発生した熊本地震の救援抛金については、前号紙面で紹介したとおりですが、熊本県老連会長より当連合会へ県老連を通じて礼状が届きましたので紙面を通じ会員のみなさまにその一部を紹介します。

当連合会の救援抛金額は、二十万円で県老連全体では四百七十二万四千五百十九円となり、「ご厚志拝受に対し衷心よりお礼のことば」、「全老連総額で三億七百九十二万七千三百四十六円は、被災市町村老連に配分され、復興に向けて、老人クラブ活動の再生の活動基金として大切に有意義に使わせていただく。」とのこと、「全国の仲間のみなさんの応援を心の支えとして苦難を乗り越える。」との内容でした。

あとがき

平成二十八年度の最後の会報をお届けします。

皆様のご協力により無事に年二回の会報の発行が出来ました。次回から新役員によりスタートとなります。皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。ありがとうございます。

広報委員一同